

令和 7 年度

事業者番号	0267	事業所番号	026700
-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	A … 原油換算エネルギー使用量が年間1,500kL未満の事業所(合算)
A	

(2) 事業所及び事業内容

代表事業所名	東京都水道局羽村取水管理事務所 旧村山山口貯水池管理事務所	前年度における事業所数	15
代表事業所所在地	市区町村	所沢市	
	字・地番	勝楽寺25番2	
当該事業所を含む事業所の名称 (※Bテナント等の場合のみ記入)			
産業分類名(中分類)	36 水道業		
分類番号(中分類)	36		
事業活動の概要	主な製品 浄水 延床面積 3137.0㎡ (A事業所の合計)		

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第3計画期間の削減目標

計画期間		2	年度	～	6	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準となる排出量		t-CO ₂	基準となる原単位	0.2534 t-CO ₂ /㎡
	【第3計画期間】平成31年度の原単位(0.2534t-CO ₂ /床面積㎡)を基準として、令和6年度末までに原単位を毎年1%ずつ改善することを目指していきます。					
	その他ガス					

(2) 第4計画期間の削減目標

計 画 期 間		7	年度	～	11	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	基準となる 排 出 量		t-CO ₂	基準となる 原 単 位	0.0743 t-CO ₂ /㎡
	令和6年度の原単位を基準として、令和11年度末までに原単位を毎年1%ずつ改善することを目指していきます。					
	その他ガス					

日本産業規格A列4番

事業所リスト

番号	事業所名	所在地
1	東京都水道局羽村取水管理事務所旧村山山口貯水池管理事務所	所沢市勝楽寺25番2
2	朝霞浄水場沈砂池	志木市宗岡赤埜毛
3	朝霞原水第2調圧水槽	新座市畑中一丁目24番地
4	朝霞原水第3調圧水槽	新座市西堀一丁目11番地
5	朝霞原水第4調圧水槽	新座市新堀二丁目13番地
6	朝霞第2送水調圧水槽	朝霞市幸町三丁目14番地
7	朝霞第2配水調圧水槽	朝霞市根岸台二丁目17番地
8	三郷ポンプ所	三郷市谷口170番地
9	三郷取水所	三郷市新和二丁目68番地
10	三郷沈砂池	三郷市新和一丁目98番地
11	三郷西線立坑(第1立坑)	三郷市栄一丁目375番地7
12	栄調整槽	三郷市栄五丁目120番地
13	三郷ポンプ所周辺外灯	埼玉県三郷市矢口1243番地先
14	山口立坑	所沢市上山口1350
15	小作山口線入口監視カメラ	所沢市勝楽寺583-1

16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

3 事業所の温室効果ガス排出量

(1) 原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計 画 期 間				
	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
	367	330	192	134	117

(2) 計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算 (t-CO₂)

		計 画 期 間				
		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂	基準	723	653	381	266	233
	前年度比 (%)	—	-9.7	-41.7	-30.2	-12.4
	基準となる排出量に対する削減率 (%)					
その他ガス	非エネルギー起源CO ₂					
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計		723	653	381	266	233

(3) 計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況（エネルギー起源CO₂）

CO₂換算 (t-CO₂/指標)

		計 画 期 間				
		令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位	基準	0.2534	0.2305	0.2082	0.1215	0.0848
	前年度比 (%)	—	-9.7	-41.7	-30.2	-12.4
	基準となる原単位に対する削減率 (%)	9.0	17.9	52.1	66.5	70.7
活動規模の指標	単 位	3,137.00	3,137.00	3,137.00	3,137.00	3,137.00
	床面積 m ²					

(4) エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

令和2年度 (2020年度)	CO ₂ 減少の理由 ○昨年度に比べ、ポンプ所からの導水流量が減少したため(ポンプ運転時間減) ○除塵機設備の不具合解消
令和3年度 (2021年度)	○昨年度に比べ、ポンプ所からの導水流量が減少したため(ポンプ運転時間減) ○前年度に施工していた工事が終了し、工事使用電力が無くなった。また、工事において、ダウンサイジングした機器により使用電力量が減となった。
令和4年度 (2022年度)	○昨年度に比べ、ポンプ所からの導水流量が減少したため(ポンプ運転時間減)
令和5年度 (2023年度)	○昨年度に比べ、ポンプ所からの導水流量が減少したため(ポンプ運転時間減)

令和6年度 (2024年度)	<p>○工事の影響によりポンプの停止を行ったことで電気の使用量が約35%減ったため、排出量が減少した。(朝霞第2送水調圧水槽)</p> <p>○前年度に比べて、所内での作業が減少したことにより、電気の使用量が約12%減ったため、排出量が減少した。(旧村山山口貯水池管理事務所)</p>
-------------------	--

日本産業規格A列4番

事業所番号	026700
-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告 (B, C事業所用)

A事業所(4)

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対 策 の 区 分			対 策 概 要	実施 予定 年度	実施 した 年度	推計 削減量(t) (1年度 当たり)
	区分 番号	区 分 名 称					
		大 区 分	中 区 分				
1	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	(村山山口貯水池管理事務所) 冷暖房温度の設定・変更 (第三計画期間も継続運用)	R1以前	R1以前	
2	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	(村山山口貯水池管理事務所) ブラインドやカーテンの適正利用 (第三計画期間も継続運用)	R1以前	R1以前	
3	330200	空気調和設備・換気設備	33_加熱及び冷却並びに伝熱の合理化に関する措置	(村山山口貯水池管理事務所) 空気調和設備の定期的な保守及び点検の実施(第三計画期間も継続運用)	R1以前	R1以前	
4	410700	事務用機器	41_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	(村山山口貯水池管理事務所) 不要時に事務用機器の電源を切る。 (第三計画期間も継続運用)	R1以前	R1以前	
5	310300	一般管理事項	31_計測及び記録の管理	(村山山口貯水池管理事務所) 過去のエネルギー使用量の記録・増減理由の分析	R1以前	R1以前	
6	360700	ポンプ、ファン、ブLOWER、コンプレッサー等	36_電気の動力・熱等への変換の合理化に関する措置	ポンプのダウンサイジングによる使用電力量削減	R3	R3	

7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							

日本産業規格 A 列 4 番

事業所番号	026700
-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告（A、Bテナント等事業所用）

A事業所(5)

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

A事業所

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

A large yellow rectangular area, intended for free description, occupying most of the page below the header.